

ローカル版「知的対流拠点」づくり

- 地域資源を核にして多様な関係者を繋ぎ、交通ネットワークも活かして、様々な知恵・アイデアを対流させる活動空間を形成
- これにより、活動主体の各々が、地域資源を活かした新たな活動に価値を見出し、継続的な活動が行われる地域づくり

※H29.3に「ローカル版『知的対流拠点』づくりマニュアル」を公表。

凡例 注) いずれも代表的なイメージ

- ①活動主体:
- ②コーディネート等を行う主体:
- ③活動空間(拠点的な施設):
- ④活動を支える交通ネットワーク: イラストに示す



研究成果・技術の活用

観光資源の活用

「自治体、ミセクなど」

「自治体、ミセクなど」

ものづくり集積・産地の活用

国内外の研究者等

ベンチャー企業
研究成果の事業化、など

まちづくり会社
域外研究者等のための滞在型
宿泊施設、子育て支援施設等
整備

研究者

大学・研究機関

地元企業

産業支援センター
伝統工芸館 など

域外人材
斬新なアイデア・デザイ
ン、技術ニース など

観光と国際会議等との連携

金融機関

出資、融資
マッチング (企業間や大学と企業など)
企業の経営支援

観光と農産物等との連携

地域住民

農家
観光事業への協働、観光
商品開発に参画など

域外人材
旅行商品化、プロ
モーション など

観光と農産物等との連携

食材の機能性分析など

ものづくりと農産物等との連携

「自治体、ミセクなど」

地域商社
商品開発、販売、販路開拓 など

全国会員
商品開発モニター など

農家

販売商品の原材料供給 など

農産物等の活用

道の駅

地元企業

食品加工など

域外専門家

農産物の生産性向上の技術
支援 など